

地理総合、地理探究

(解答番号 1 ~ 30)

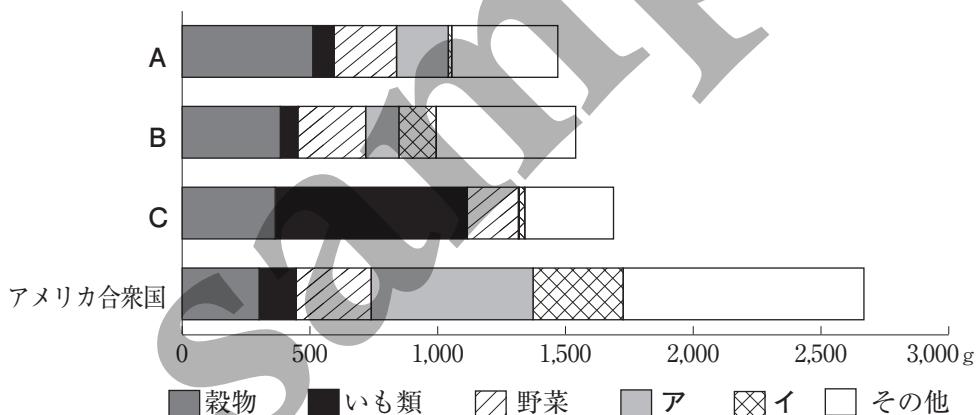
第1問 世界には様々な文化を有する国があり、生活様式や宗教、言語なども多様である。一方で、異なる文化を有する人々の間で生じる摩擦は、地球的課題に結びつくこともある。これに関する次の問い合わせ(問1~4)に答えよ。(配点 13)

問1 次の図1は、いくつかの国における1人1日当たり食料供給量を主な食料別に示したものである。図1中のA～Cはインド、ナイジェリア、日本のいずれか、凡例アトイは、牛乳・乳製品*と肉類**のいずれかである。日本と肉類との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

1

*バターを除く。

**内臓／くず肉を含む。



統計年次は2019年。『世界国勢団会』により作成。

図1

	①	②	③	④	⑤	⑥
日本	A	A	B	B	C	C
肉類	ア	イ	ア	イ	ア	イ

問2 マヤさんたちは、気候環境に合わせてつくられた東南アジアの伝統的な住居について、次の写真1をみながら先生と話し合った。写真1は、タイ北部にみられる伝統的な住居である。会話文中の空欄Eには、文力とキのいずれか、空欄Fには、文サとシのいずれかが当てはまる。空欄EとFに当てはまる文の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

2



写真1

先生 「タイをはじめ東南アジアには写真1のような高床式住居が多くみられます。なぜ高床にしているのでしょうか？」

マヤ 「東南アジアの大部分は、熱帯気候なので、(E) ためだと思います」

先生 「その通りです。高床式の建物はシベリア東部でもよくみられますが、その理由は東南アジアとは異なります」

リツ 「シベリア東部の建物が高床式なのは、(F) のを防ぐためです」

先生 「その通りです。このように、住居などの建物にはその土地の気候に合わせた様々な工夫がみられます」

(E) に当てはまる文

力 急激な気温の変化が室内に及ぼないようにする

キ 風通しを良くし、洪水時に浸水しないようにする

(F) に当てはまる文

サ 室内の暖房熱により永久凍土が融け、建物が傾く

シ 害獣や害虫が室内に侵入する

	①	②	③	④
E	カ	カ	キ	キ
F	サ	シ	サ	シ

問3 次の表1は、南アジアのいくつかの国における宗教別人口割合を示したものであり、H～Jはイスラーム、ヒンドゥー教、仏教のいずれか、タとチはインド、パキスタンのいずれかである。イスラームとインドとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

3

表1

(単位：%)

国名	H	I	J	キリスト教
タ	96.4	1.9	—	1.6
チ	14.2	79.8	0.7	2.3
ネパール	4.4	81.3	9.0	1.4
スリランカ	7.0	15.0	70.0	8.0

統計年次はインドとネパールが2011年、スリランカが2005年、パキスタンが2010年。－はデータなし。『データブック オブ・ザ・ワールド』により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
イスラーム	H	H	I	I	J	J
インド	タ	チ	タ	チ	タ	チ

問4 公用語の設定は民族問題の原因となることがある。そのため、複数の公用語を定めたり、旧宗主国語を公用語に定めたりしている国もある。次の図2中のL～Nは、複数の公用語を定めている国を示したものであり、後の文ナ～ヌは、図2中のL～Nのいずれかの国における公用語について述べたものである。L～Nとナ～ヌとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

4

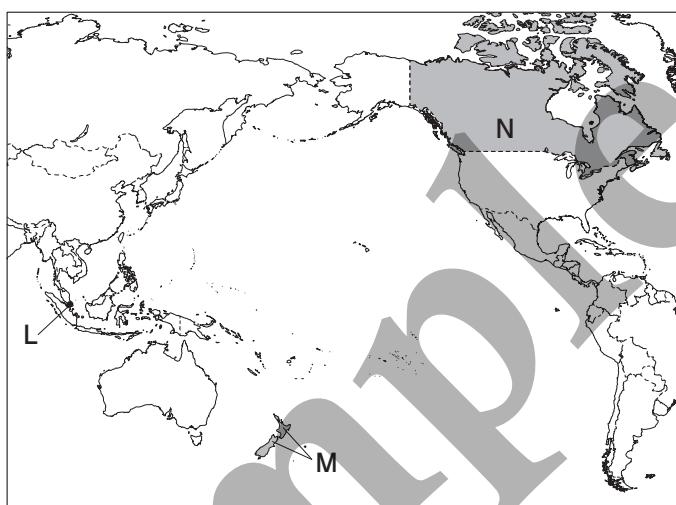
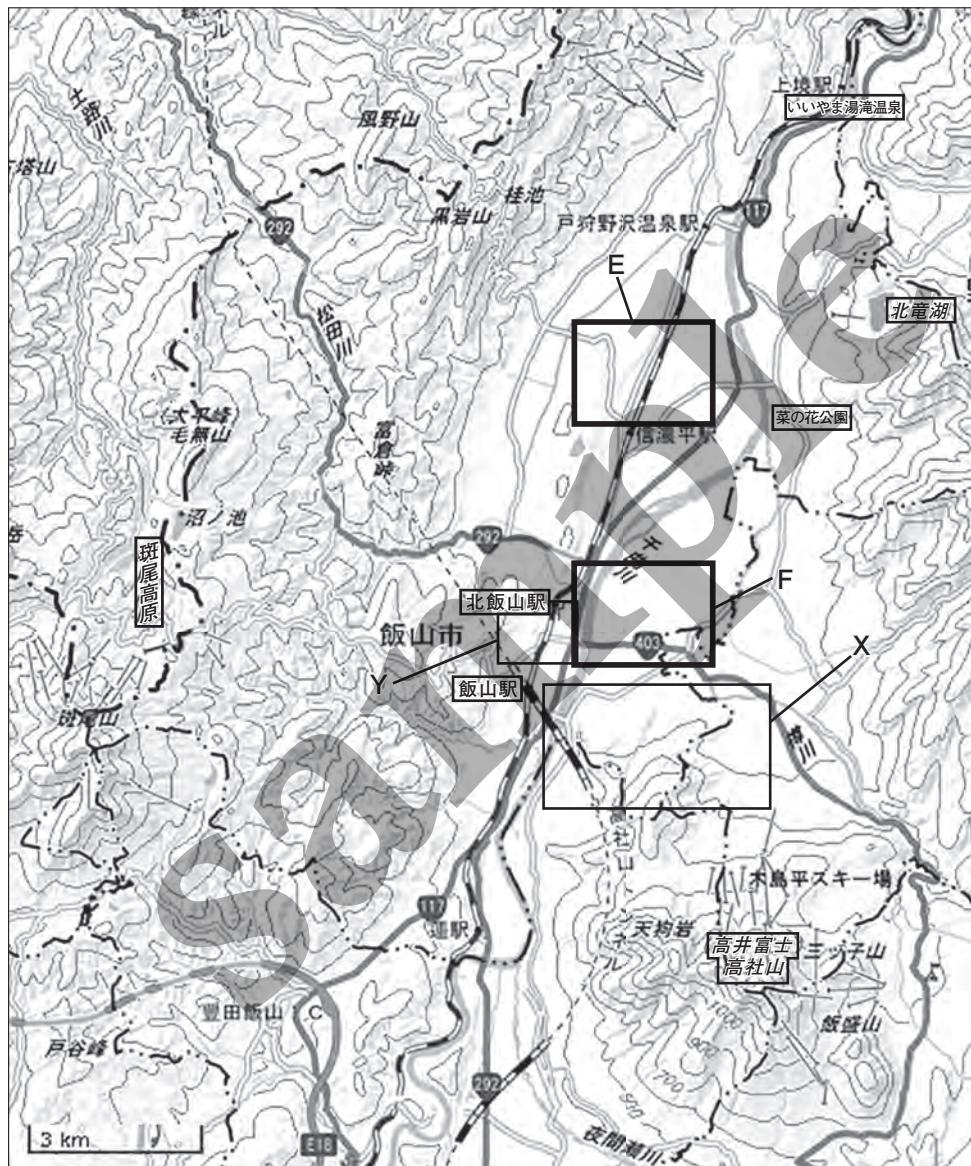


図2

- ナ 先住民の伝統文化や言語などを保存するための取組みが行われており、旧宗主国語と先住民の言語のほか、手話も公用語に定められている。
- ニ 多文化主義が採られ、この国の宗主権を争った2か国の言語がともに公用語となっているが、そのうちの1言語のみを公用語に設定している州もある。
- ヌ 多くの民族が混在しているため、主要3民族の言語に加え、学校教育やビジネスの場で共通語として用いられる旧宗主国語も公用語となっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
L	ナ	ナ	ニ	ニ	ヌ	ヌ
M	ニ	ヌ	ナ	ヌ	ナ	ニ
N	ヌ	ニ	ヌ	ナ	ニ	ナ

第2問 関東地方に住む高校生のナギサさんとサオリさんは、10月の下旬に長野県飯山市とその周辺の地域調査を行った。次の図1を見て、この地域調査に関する後の問い合わせ（問1～4）に答えよ。（配点 12）



地理院地図により作成。

四 1

問1 ナギサさんたちは、調査に出発する前に、図1から読み取れることがらをあげてみた。図1から読み取れることがらについて述べた次のア～ウについて、正誤の正しい組合せを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。

5

- ア 北竜湖^{ほくりゅう}の湖面は、標高1,000m付近に位置している。
- イ 北飯山駅付近で国道117号線から西に分岐する国道292号線は、飯山市内では主に尾根を走行している。
- ウ 高井富士(高社山)^{こうしゃ}の山頂から、飯山駅付近の市街地を眺めることができる。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ア	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
イ	正	正	誤	誤	正	誤	誤	誤
ウ	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

問2 飯山駅に到着したナギサさんたちは、周辺地域を自転車でまわり、写真を撮影した。次の図2は、図1中のXを拡大したものであり、後の写真1中のカ～クは、図2中のA～Cのいずれかの地点で、矢印の方向に向かって撮影したものである。A～Cとカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

6



地理院地図により作成。

図2



力



キ



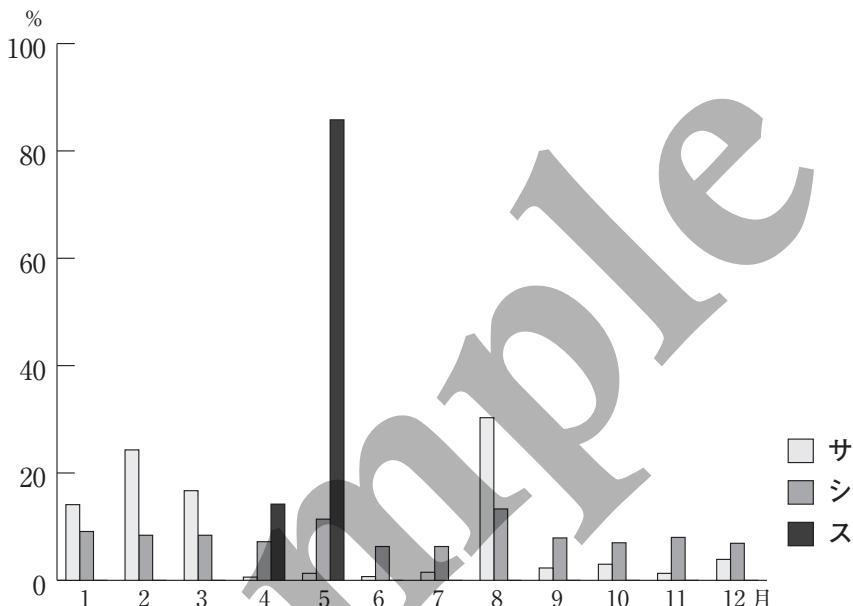
ク
写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
B	キ	ク	カ	ク	カ	キ
C	ク	キ	カ	カ	キ	力

問3 飯山市の観光に興味をもったナギサさんたちは、観光に関する資料を入手した。次の図3は、飯山市のいくつかの観光地の利用者の月別割合*を示したもので、サ～スは、いいやま湯滝温泉、菜の花公園、斑尾高原のいずれかである。観光地名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

7

*年間の観光客数に占める各月の観光客数の割合(%)。



統計年次は2015年。飯山市観光地利用者調査により作成。

図3

	①	②	③	④	⑤	⑥
いいやま湯滝温泉	サ	サ	シ	シ	ス	ス
菜の花公園	シ	ス	サ	ス	サ	シ
斑尾高原	ス	シ	ス	サ	シ	サ

解説

第1問

〈出題分野〉

生活・文化

〈出題のねらい〉

世界各地の食生活、東南アジアの伝統的な住居、南アジア諸国の宗教、各国の公用語について出題した。図表を丁寧に読み取ることが攻略のカギになることを肝に銘じ、学習に励んでほしい。

問1 1 正解④

世界各地の伝統的な主食は、その地域の気候と深い関わりがある。気温が高く雨の多い熱帯にはいも類を主食とする地域が分布する。アフリカ中西部や中南部ではキャッサバ(マニオク)、オセアニアの島々ではタロイもやヤムいもが主食とされる。よって、いも類の数値が突出して大きいCが、アフリカ中西部のナイジェリアとなる。

残るA・Bがインド・日本のいずれかとなる。AとBを比較すると、Aは「イ」の供給量が極めて少ないことがわかる。このことから、Aは国民の約8割が殺生を戒めるヒンドゥー教を信仰し、肉食を控える傾向が強いインドとなる。また、凡例イは肉類となる。インドでは肉類の消費量は少ないが、牛乳・乳製品は貴重な動物性たんぱく質として摂取される。よって、Aは牛乳・乳製品となる。ただし、インドでは近年、経済成長に伴って若い世代を中心に鶏肉・鶏卵の消費が急増しており、食生活は変化しつつある。

米を主食とする東アジア地域では副食として野菜が多く食べられる。また、日本では高度経済成長に伴い、肉食が普及してきたため、インドやナイジェリアと比べると肉類の供給量も多い。よって、A・Cより野菜の供給量が相対的に多く、肉類の供給量が多いBが日本である。

問2 2 正解③

世界の住居には、地域の自然環境に対応した様々な工夫がみられる。東南アジアのように高温多湿な地域では通気性を良くし、洪水時の浸水を防ぐために床を地表面より高い位置に設ける高床式住居がみられる。よって、空欄Eにはキが該当する。

力の急激な気温の変化が室内に及ぼないような工夫がされているのは、北アフリカや西アジアなどの乾燥地域である。北アフリカや西アジアの乾燥地域は気温の日较差が大きいため、家屋の壁を厚くし開口部を小さくするなどの工夫をして、外気を遮断している。

高床式住居は冬の寒さが厳しいシベリア東部にもみら

れる。これは、室内的暖房熱が地表に伝わって、地下の永久凍土が融け、建物が傾くのを軽減するためである。よって、空欄Fにはサが該当する。

シの害獣や害虫が室内に侵入するのを防ぐために高床式住居にしているのは、東南アジアなど高温多湿な地域である。

問3 3 正解②

まず、H～Jの宗教名を判定しよう。ネパールは2006年までヒンドゥー教を国教とする国であった。現在は政教分離が進み、仏教徒(チベット仏教や上座部仏教など)も多くなっているが、現在も人口の約8割はヒンドゥー教徒である。よって、Iはヒンドゥー教である。スリランカは上座(部)仏教徒のシンハラ人が多数を占めているが、北部や東部にはヒンドゥー教徒のタミル人やムスリムのムーア人が少数派として暮らしている。1948年の独立以降、シンハラ人を優遇する政策を進め、1956年にはシンハラ語の公用語化が進められたため、タミル人との対立が激しくなり、内戦状態が続いた(内戦は2009年に終結)。よって、Jは仏教となり、残るHがイスラームとなる。

次にタとチの国名を判定しよう。イスラームを信仰する人が96.4%を占めるタがパキスタン、ヒンドゥー教を信仰する人が79.8%を占めるチがインドと判断できる。

南アジアはヒンドゥー教・イスラーム・仏教のほか、ジャイナ教・シク教など多くの宗教が分布する地域で、宗教の違いを一因とする内戦や領土問題がたびたび勃発している。かつて、南アジア(ネパールとブータンを除く)は全域がイギリスの植民地だったが、第二次世界大戦後、ヒンドゥー教徒を中心とするインド、ムスリムを中心とするパキスタン、仏教徒が多いスリランカに分かれてそれぞれ別の国としてイギリスから独立した。インドとパキスタンの間には、独立時に発生したカシミール地方の帰属問題が未解決のまま残され、これまでに3度の戦争(印パ戦争)が起きている。

問4 4 正解⑥

図2中のLはシンガポール、Mはニュージーランド、Nはカナダである。

ナはニュージーランドについて述べた文である。ニュージーランドでは先住民マオリの伝統文化や言語などを保護するための取組みが行われており、旧宗主国イギリスの言語である英語とマオリの言語であるマオリ語のほか、手話が公用語に定められ、多文化主義を採っている。

ニはカナダについて述べた文である。かつてイギリスとフランスが競って入植したカナダは、イギリス系住民

とフランス系住民が共存している国である。そのため、同国も多文化主義を採り、英語とフランス語をともに公用語とし、州の権限を優先する連邦制を採用している。

又はシンガポールについて述べた文である。シンガポールは、19世紀初めにイギリス植民地となり、中継貿易の拠点として発展した。第二次世界大戦後はイギリスの自治領を経て、1963年にマレーシア連邦の一州となつたが、中国系住民の割合が高く、マレーシア政府との政策の不一致から、1965年に分離独立した。こうした歴史的経緯を背景に、主要3民族の言語である中国語・マレー語・タミル語(インド系の言語)が公用語に設定されているほか、旧宗主国の言語である英語も公用語となっている。英語は世界共通語であり、経済発展に欠かせないという実利的側面があることから、同国では学校教育・行政サービス・ビジネスなどの場では英語が専ら用いられている。

第2問

〈出題分野〉

長野県飯山市とその周辺の地域調査

〈出題のねらい〉

地図、グラフ、表、写真など多様な資料から取り出した情報を統合し、地域の特色を考察する力を問うた。また、日本の地理的な特色を、特定地域に一般化することができるか、確認できる問題も出題している。

問1 5 正解①

アについて、図1の右下(南東)に位置する高井富士(高社山)の周囲に引かれている等高線に標高が示されている。これをもとに北竜湖の湖面の標高を読み取ると、500～600mであることが分かる。よって、アは誤りである。

イについて、北飯山駅付近で国道117号線から西に分岐する国道292号線は、飯山市内では主に谷を走行している。富倉峠の近くにあるトンネル付近が分水嶺となっており、国道117号線から西に分岐してしばらくするとトンネルの直前まで谷筋を走行する。これは等高線が標高の高い方向に向かって凸となっていることから容易に読み取れる。トンネルを抜けた後は、松田川に沿って下り、等高線は標高の低い方向に向かって凹(谷)となっている。よって、イは誤りである。

ウについて、高井富士(高社山)は、図1から読み取れるように円錐状の山容を呈する独立峰で、山頂から飯山駅付近の市街地の間に視界を遮るものは存在しない。よって、ウは正しい。

問2 6 正解③

力は平坦な土地に田(II)が広がっていること、写真奥に建造物(施設)が写っていることから、B地点で撮影したものと判定できる。なお、大問の冒頭に「10月の下旬に…地域調査を行った」とあるように、写真に写っている田は稲刈りが終わった後のもので、一面に切り株が残されている。

キは平坦な土地に果樹園(○)が広がっていることから、A地点で撮影したものと判定できる。なお、この果樹はりんごで、長野県は青森県に次ぐりんごの生産県である。

クは傾斜地に階段状の田が開かれていること、これらの田より低い場所に集落がみられることから、C地点で撮影したものと判定できる。

問3 7 正解④

まず、「菜の花公園」は、菜の花の咲く春に観光客の利用が多いと考えられる。利用者が4月、5月に集中している点が菜の花公園である。

次に、「いいやま湯滝温泉」について考える。一般に、温泉施設は、年中平均的に利用者を受け入れており、季節による変動は小さい。どの月も平均的に利用者がみられるシが、「いいやま湯滝温泉」である。

最後に「斑尾高原」について考える。「斑尾高原」は、図1からも読み取れるように、標高1,000m前後の高地で、夏季に避暑、登山、ハイキングなどを目的として訪れる観光客が多い。また、冬季は、スキー、スノーボードを目的とする観光客が多い。「斑尾高原」にスキー場があることは、斑尾山周辺にスキー用リフトが多数みられる点から推測できる。夏季と冬季に利用者のピークがみられる点が、「斑尾高原」である。

問4 8 正解③

飯山市は、問題文にあるように、過疎化が進み、「空き家」が増えている。ここでいう「空き家」は狭義の「空き家」のことで、私たちが、通常、「空き家」としてイメージするものに最も近く、図4では「その他の住宅」に分類されている。「その他の住宅」の注釈に、「二次的住宅・賃貸用の住宅・売却用の住宅以外の人が住んでいない住宅で、例えば転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅など」とあるのに注目してほしい。よって、空き家に占める「その他の住宅」の割合が突出して高いFが飯山市である。

軽井沢町は、長野県東部、浅間山南東麓に位置する高原避暑地であり、高級別荘地として広く知られる。多くの別荘・企業や大学などの保養所および寮があるほか、ホテル、ゴルフ場、アウトレットモールなどの観光施設